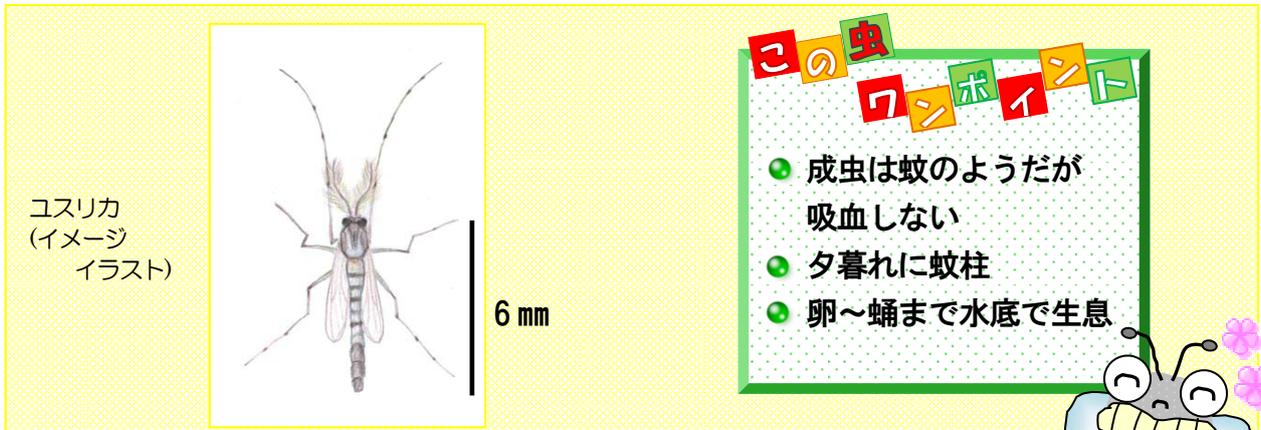


ユスリカ

春先から初夏にかけ、蚊のような虫が柱状に集まり飛んでいることがあります。ユスリカが交尾のために群れているもので、蚊柱と呼ばれています。



● 形態

- 体長 1～10 mm、種類も多い。
- 成虫は一見、蚊のようであるが、口は退化してありません。
- 卵は寒天質で覆われた卵塊として産まれます。
- 幼虫は細長い円筒形で体色が赤いため、しばしば赤虫（アカムシ）と呼ばれています。

● 生態

- 卵から幼虫、蛹となるまで水底の泥の中で過ごします。池、水田、側溝など流れの少ない水域に発生します。
- 幼虫は体を絶えずゆらゆら揺すっているので、ユスリカと名づけられました。
- 羽化した成虫は水面から飛び立ち、昼間は周辺の草や雑木などにとどまり、暗くなってから交尾のために集団で群飛して蚊柱を形成します。
- 幼虫は水底の汚泥や藻類などを食べるので水の浄化に役立ちます。
- 成虫は口が無く何も食べず、吸血もしません。



● 被害

- 大量に発生したユスリカは、洗濯物に付着し汚したり、街路灯や家の灯りなど光に集まる習性があるため屋内に入ったり不快感を与えますが、人を刺しません。

● 駆除するには

- 薬剤でも駆除できますが薬剤による生物や植物への影響が考えられます。ユスリカが成虫になる前の卵・幼虫を除去するために、汚泥を取り除き生息環境を減らします。
- 周辺の水溜りや溝を清掃し、汚泥を取り除きます。
- 放置されたバケツ・古タイヤ・植木鉢の受け皿など、水が溜まる場所を清掃します。

● 発生を予防するには

- 窓やドアは開けっ放しにせず、窓には網戸を取り付け、成虫の侵入を防ぎます。
- ユスリカの卵から蛹の生息場所となる溝の汚泥を取り除くなど、定期的に清掃します。